



自由律俳句協会ニュースレター

発行：自由律俳句協会

(このニュースレターでは自由律俳句協会の最新の活動状況をお伝えしていきます)

2021 年度自由律俳句協会総会のご報告

2021 年 11 月 28 日(日)、東京・江東区の芭蕉記念館本館にて、自由律俳句協会総会が開催されました。今回はコロナ禍の状況を考慮し、予め郵送した議案に対する返信ハガキの集計をもとに採決をいたしました。協会の個人会員は 66 名、団体会員は 5 団体のうち、ハガキで賛否・委任を寄せた個人会員は 44 名、団体会員は 4 団体で、会員の過半数に達したため、総会は成立しました。

◆会場開催の総会レポート

コロナ禍に於ける緊急事態宣言は解除されたもののまだ予断を許さぬ時期でもあり、協会幹事 10 名（佐瀬会長と白松事務局はリモートにて参加）と藤澤雅幸氏の 11 名にて総会は開催されました。

まずは司会者として野谷真治氏が推薦され、出席者の賛同を得て平林吉明氏が議長に選出され総会の幕が開きました。最初に司会者より健康のために残念ながら会場で参加できなかった佐瀬会長の挨拶が代読されました。

続いて議長より議案が順番に読み上げられ質疑応答が始まります。会計報告についても平岡氏から追加説明があり、黒瀬氏の会計監査も認められ可決しました。

規約改定＝年会費については、会員アンケートを踏まえて、機関誌年 1 回発行を予定し、個人会員を 4,000 円（1,000 円の値上げ、団体 3,000 円・学生 1,000 円は据え置き）と決定し、改めて中塚から丁寧な説明を行いました。会費に関しては、会員から「基金を募ろう」とのご意見もいただいております。その案についてはさらに論議を重ねることになりました。

他の議案についても各担当者から補足説明があり、返信ハガキの回答も含めほぼ満場一致の賛成を得て原案通り可決したことをご報告いたします。
(中塚唯人)

◆承認された今年度の活動計画

- ①自由律俳句協会・総会の開催
- ②ニュースレターの発行……年 4～5 回を目安に連絡の必要なタイミングを考慮して発行
- ③機関誌「自由律の風」の発行……次号は 5 月刊予定、以後は年 1 回 2 月発行の予定
- ④自由律俳句協会奨励賞の実施……会員の皆さまからの積極的な推薦をお願いします
- ⑤自由律俳句協会・大賞の準備と「自由律の泉賞」の実施……第 2 回自由律の泉賞を計画中
- ⑥文学フリマ東京への出店（年 1 回春）……2022 年は 5 月 29 日(日)開催
- ⑦「イベント」の企画……オンライン Zoom 句会、シンポジウムなど
- ⑧ツイッターの活用
- ⑨オンデマンド冊子の制作……「てのひら句集(二)」を企画。参加者募集は次ページ参照
- ⑩ホームページの更新と充実……電子書棚の充実など
- ⑪協会の組織の強化―各結社との連携、Zoom によるリモート会議
- ⑫新入会員の拡大……会員募集案内の配布など

◆自由律俳句協会奨励賞発表……句会報「いき」代表 伊藤哲英氏

受賞者紹介：伊藤氏は、京都で口語俳句系の「二弦」において長く編集などで支え、その終刊後は仲間を「いき」へ迎えられました。「いき」は新俳句人連盟京都支部が発行している俳句通信で、伊藤氏はその発行を担われています。また、2021年で55回になる「原爆忌全国俳句大会」では15年にわたり事務局を務めてこられました。残念ながら大会は今年で閉じられましたが、その記録を残すことにも尽力されています。京都にもたくさんの俳誌がありましたが、今は数えることができません。その砦を担っている方が伊藤氏です。
(選定委員 平岡久美子)

●総会にあたって（会長のご挨拶より）

自由律俳句は日本独特の文学の表現方法だと思っています。この文学の火を絶やしてはいけない、何かできることがあればと思い、この協会の活動に参加しました。定型を含め俳句会グループはこぢんまりまとまり、閉鎖的です。こうした垣根を越えて、自由闊達に交流また俳句を語り合える場をつくっていかれたらと思います。
(佐瀬風井梧)

●新役員からのご挨拶

▶平林吉明 いつも同じメンバーでの句会だと閉鎖的になりがちで、評者の意見や感想も予想通りのものであったりします。他結社の句会への参座を可能にし、初めてお会いする方々との自由な意見交換や句評に耳を傾けることができるようなシステムを作りたいと思います。

▶佐川智英実 山口県防府市在住で、主に事務局作業を担当します。仕事の引き継ぎを始めてこれまでのご苦労がわかり、知らなかったとはいえ申し訳ない気持ちになりました。ですが、一番に自分が楽しみながら協会の活動をしたいと思っています。何卒よろしくお願い致します。

●協会員からのご意見・ご提案

返信ハガキでは「句会を公開するために、協会ホームページの活用・取り次ぎなどできないか」「NOTEというブログのようなものがあり、年会費もかからず、入力も簡単。句集をまとめて売上が協会に寄付してもらおうなどはどうか」「協会の活動をより多様に活発にしていけるため、担い手を増やすことが急務」などの意見が寄せられました。

また、総会後の意見交換会では、藤澤雅幸氏から「会員の句を集めて動画句集をつくり、ユーチューブで公開する」というプロジェクトの提案・協力の申し出があり、具体的に検討を進めることになりました。

「第2回きょうかいの句会 in Zoom」のご報告

2021年12月4日、第2回となるZoom句会を行いました。前回の8名を上回る11名の方に参座いただきました。前回から引き続きご参加いただいた方もおり、主催者として嬉しい限りです。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

句会も和やかに進行し、その上で褒める一辺倒でない建設的な感想・評もたくさん寄せられ、顔が見える句会ならではの良さが出たように思います。

句会の後は、平岡久美子さんに講演を行っていただきました。口語俳句運動の歴史や市川一男先生、まつもとかずや先生との出会いなど、興味深いお話をたくさんしていただきました。今回の句会には多くの20代、30代の俳人に参加いただいたのですが、皆さん真剣な眼差しで聞いていたのが印象的でした。
(さいとうこう)

文学フリマ出展へ「ミニ句集」第2弾の参加者募集

オンデマンド冊子プロジェクトとして、2022年5月開催の「文学フリマ東京」への出展を目指し、ミニ句集の第2弾「自由律俳句協会 でのひら句集(二)」の制作を計画しています。

今回は、コロナ禍に見舞われた2020-21年の暮らしを詠んだ会員の皆さんの句を募集します。未曾有のパンデミックのなかを生き抜いた歴史を小さな句集に残しませんか？ 幅広い年代の皆さんの参加をお待ちしています！

●参加条件：個人会員 1人5句

団体会員 1グループ5句（参加メンバーの人数は自由）

●掲載内容：①投句5句

「コロナ」など直接的な言葉が入っている必要はありませんが、2020～21年のコロナ禍の暮らしのなかで詠んだ句とします（既発表・未発表は不問）

②作者名、居住都道府県名

③参加している結社・グループ名（なければ無所属）

※団体会員として参加の場合は、①メンバーの投句5句、それぞれの作者名、

②団体名、活動の拠点地域（都道府県名）

●参加申込：冊子への掲載は無料です。

原稿送付、校正・確認など制作上の連絡はメールを基本とさせていただきます。上記の内容をメール本文に直接入れてください。特殊な体裁のご指定には対応できない場合もあります。

手書き原稿・郵送での参加を希望される場合は、同封の投句用紙を使用し、作業上の経費として84円切手2枚を同封ください（送り先などは投句用紙参照）

●オンデマンド冊子として、次回の文学フリマに限らず、自由律俳句の広報用として協会の判断で追加印刷することがあります。この点、同意いただける方がご参加ください。

●文学フリマ出展後、PDF化して協会ホームページの電子書棚に収めることも検討しています（参加意思のある方のみ）。投句の際は、原稿末尾に「PDF版：参加（または不参加）」とお知らせください。

●締め切り：2022年2月20日

●問合せ・原稿送付先：wakat.jiyuritu@gmail.com

（プロジェクト担当：寺田和可、佐川智英実）

★★★★★ 第34回文学フリマ東京 協会として出店予定 ★★★★★

日時：2022年5月29日（日）12:00～17:00 場所：東京流通センター 第一会場

※昨年はコロナの影響で出店を見合わせましたが、2022年春は大いにアピールしたいと思います。

自由律俳句関連のお知らせ・ご案内

◆サザンカネット句会アンソロジー『Knot ～結び目～』刊行のご案内

サザンカのネット句会に参加した作家17人の合同句集。一人につき左右見開きの作家ページがあり、読み物企画も盛りだくさんです。2021年11月の文学フリマ東京でも販売しました。B5判54ページ、1冊500円＋送料370円で頒布しています。ご興味あればお問い合わせください。

メール：bouillon5fleuve@gmail.com Twitter：[@genuinegohantei](https://twitter.com/genuinegohantei)

（「サザンカ」連絡係 大川崇譜）

自由律俳句協会からのお知らせ

◆機関誌第三号訂正

P16、会員個人詠草集で吉原陽子さんの句が吉田健治さんの句と誤って掲載されていました。誠に申し訳ありませんでした。お詫びして訂正します。 (編集責任者 中塚唯人)

誤) 吉原陽子 東京都品川区

女の子の方が元気な鼓笛隊
リラ冷えの街ゆっくりと霊柩車
香水壺のうしろに碧い湖がある
ジョニ黒の外側に行く終列車
冬至です南瓜はんなり煮ています
以上は吉田さんの句の重複。

正) 吉原陽子 愛知県名古屋市◇青い地球

青空まじめな骨格さるすべり
逆転もなく裸木を仰ぐ自分史
花終わったあじさいと余生分かち合う
もみじ敷く絵空事もあって八十路
俳句道楽なんだかなあ半世紀

◆機関誌第4号投稿のお願い

次号の投稿締め切りは1月31日です。より良い、皆様が興味を持って頂けるような誌にしたいと思っています。第5号は令和5年2月となり間も空きますので、「投句」「5句選」「ご意見・ご希望」「新刊紹介」「ちょっといい話」「風の喫茶室」へのお便り等、皆様のお声をお聞かせください。宜しくお待ちしております。 (編集部)

◆原爆忌全国俳句大会 50年の記録 貸し出しのお知らせ

原爆忌全国俳句大会事務局より「被爆の野から 原爆忌全国俳句大会 50年の記録」を寄贈されました。貸し出しをしたいと思いますので、関心ある会員は「自由律の泉」担当の平岡までご連絡ください。

◆協会の公式ツイッターから

フォロワー数は602まで増加しました(2021年12月25日現在)。 (さいとうこう)

◆会計より

2021年11月の総会にて、年会費についてはアンケートによる多数決をもちまして、個人会員が1,000円値上げの4,000円とさせていただくことになりました。心苦しくはありますが、大切に、有意義に使わせていただきます。ご協力よろしくお願ひいたします。 (平岡久美子)

(新)年会費：個人会員 4,000円(学生は1,000円) 結社・グループ会員 3,000円

<会費納入先>……振込用紙以外の振込み方法も可能です

郵便振替口座 口座記号番号 00180-9-417884 加入者名「自由律俳句協会」

ゆうちょ銀行 記号10050 番号03963121 自由律俳句協会

他行より振込の場合、支店名：〇〇八(ゼロゼロハチ) 種類：普通 口座番号：0396312

口座名義：自由律俳句協会

自由律俳句協会 事務局

〒270-2329 千葉県印西市滝野 2-6-16 白松いちろう方

e-mail: siroo@mist.ocn.ne.jp TEL&FAX 0476-80-9177

ホームページ：<https://www.自由律.com/> ツイッター：自由律俳句協会@jihaikyo